

救済

知っておきたいキリスト教のことば（52）

「救済」という考え方とは、多くの宗教の中で大切にされています。しかしこの世の苦しみや悲しみから逃れること、悩みから解放されることなど、それぞれの宗教によって、その意味するものは微妙に違っているのかもしれません。

聖書の中では、病気がいやされたり、悪霊に憑かれた人が悪霊を追い出してもらったりする意味で用いられることもあります。しかしキリスト教で大切にしている「救済」とは、神さまが歴史の中に介入し、救いの手を差し伸べられた出来事を指します。

旧約聖書の出エジプト記には、神さまがイスラエルの民をエジプトから救い出した出来事が描かれます。

そしてイエス様の誕生とその生涯、さらに十字架と復活において、旧約の時代から待ち望まれていた「救済」が実現していくのです。

新約聖書の中には、「この聖書の言葉は成就した」という記述が多く見られます。これはイエス様の出来事が、旧約の預言者によって預言されていた神さまの救いのみ業であることを意味しているのです。

ではキリスト教の救済とは何を意味するのでしょうか。それは「罪からの救い」です。わたしたちの罪を赦し、わたしたちを罪の束縛から解放することこそ、神さまの救いの計画なのです。そのためにイエス様をこの世に遣わし、罪の贖いのための犠牲として、イエス様を十字架へと向かわせられたのです。

救済は、最終的にはイエス・キリストの再臨のときに完成されます。しかし今、イエス様を信じる人はすでに義とされています。イエス様の十字架によって神さまとの和解が与えられ、救いにあずかっているのです。

次回は「Q資料」です。お楽しみに。

